HD-600-V JINBEI HD-600-V バッテリーモノストロボ

取扱説明書

お届け内容

本体　1台
スタンド接続ブラケット　1個
手持ちブラケット（下部に1/4ネジ穴付き）　1個
ミニレフ（ディフューザーカバー付）　1個
専用バッグ　1個
専用充電器　1個

スペック

型番	HD-600-V
ガイドナンバー(GN)	64（ISO100, 1m, 18cmレフ使用, ダイレクト）
リサイクリングタイム(秒)	ブースト時: 0.3~4.0、通常時: 0.3~5.5
調光範囲	22 f-stop 1/1~1/128、1/3ステップで調光可能
充電完了表示	液晶/ ブザー
閃光時間(t=0.5)	1/15000s
色温度	5500°K ±200°K
モデリングランプ	5W LED
同調方式	フォトセル / 2.4GHz専用無線機 / シンクロケーブル
保護表示	LCD液晶
モデリングランプ仕様	常時点灯/ 60秒タイマーオフ
スレーブ・発光仕様	スレーブ / 遅延同調(プリ発光等) / マルチ発光
シンクロ電圧	DC 3.3V
バッテリー	リチウムイオン、DC 14.8V 6600mAh
重量 (Kg)	2.48
寸法(mm)	℄124 x 268

各部名称・機能

1) リフレクターロック
2) ハンドグリップ
スタンド接続ブラケット
3) スレーブ受光部
4) シンクロターミナル
(3.5mmミニジャック)
5) 2.4GHz無線アンテナ
6) 充電用ソケット
7) 無線/SETボタン
8) スレーブ/発光モード選択
9) 電源ボタン(3秒押)
10) ヒューズ
11) マイナスボタン
12) プラスボタン
13) テスト発光ボタン
14) バッテリー

電池のケアとメンテナンス

本製品の電池は、ご購入後2、3回の完全な充放電サイクル後に最適なパフォーマンスを発揮します。400回程度の充放電が可能ですが、経年劣化で電池容量が減少します。電池の持ちが悪くなったら新しい電池に交換してください。

過度に高温や過冷却の場所にでは、電池容量は減少し、耐用年数が短くなります。適切な環境温度は約15℃～25℃です。 過熱・過冷却時は、電池が頻繁にシャットダウンします。環境温度が0℃よりも低い場合、電池が満充電でも機能しません。

過放電は最悪の場合電池を破壊します。HD-600-Vには、電池容量表示機能があります。電池容量が少ないまま使用を続けると電池が破損しますので、早めに充電を行ってください。

電池を保護するために、使用した後は10分ほど冷却して下さい
電池の脱着はHD-600-Vの電源を切ってから行ってください。

電池に関する注意

▽電池を分解・改造することは禁止です。
▽電池の接点を短絡させることは禁止です。
▽水や火の中に電池を廃棄することは禁止です。
▽車内等60℃以上の高温にさらさないでください。
▽電池に過度の衝撃や振動を与えないでください。
▽他の目的のために電池は使用できません。
▽充電は乾燥した場所で行ってください。
▽専用充電器以外の充電器は使用禁止です。
▽充電器をコンセントにつないだ後に電池にコネクタを接続します。
▽電池を使用しない場合は涼しく乾燥した場所に保存してください 。
▽3ヶ月に1回は満充電してください。
▽子供の手の届かないところに保管してください。

操作方法・注意点

【電源ON】
HD-600がオフの時、「電源ボタン(9)」を長押しすると画面が「3-2-1-0」とカウントダウンを始めます。カウントダウンが終了すると液晶画面が点灯表示し、ブザーが「ピピピッ」と3回鳴ったらボタンから手を放します。

【電源OFF】
HD-600がオンの時、「電源ボタン(9)」を長押しすると画面が「3-2-1-0」とカウントダウンを始めます。カウントダウンが終了すると液晶画面が消灯し、ブザーが「ピッ」と1回鳴ったらボタンから手を放します。

【設定値保存】
電源オフの直前の設定が保存されます。

【スレーブ/発光モード切替】
「スレーブ/発光モードボタン(8)」は押すごとに4つの発光モードを切り替えます。
手動モード - マルチ発光モード - スレーブモード - 遅延発光モード(プリ発光等)

【各パラメータの設定】
「無線/SETボタン(7)」は発光モードに応じて異なる働きをします。
・手動モード：無線チャネル設定(00から15、計16チャンネル)
・マルチ発光モード：発光回数、発光周波数
・遅延発光モード：2～10(回目の他ストロボの発光に同調)

【電池残量】
目盛が1つに減ったら充電のタイミングです。そのまま使い続けると過放電となり、電池の寿命を縮め、最悪の場合破損します。

【高速・低速チャージモード】
電源オンの状態で「電源ボタン(9)」を短く押すと、リサイクリングタイムを速くする高速チャージ、通常の低速チャージモードを切り替えることが出来ます。電源投入時は低速モードになっています。システムを保護するため、高速モードで連続40回の発光をすると、自動的に低速モードに切り替わります。5分間はモードを変更することはできません。また、電池残量が少なくなると、高速モードは利用できません。

【無線機能】
「無線/SETボタン(7)」と「-ボタン(11)」を同時に押して、機能を設定します。
再度「無線/SETボタン(7)」を押してアイコンを点滅させ、無線チャンネルを設定します。ディップスイッチアイコンと「TRS　無線送信機」のディップスイッチを一致させると、同機完了です。

【充電完了音】
「発光モードボタン(8)」と「+ボタン(12)」同時に押すと、充電完了の入切ができます。

【LCD(液晶)バックライト】
「発光モードボタン(8)」と「+ボタン(12)」同時に押すと、バックライトの入切が出来ます。
バックライトが点灯したまま何も操作せずに約2分間放置すると、自動的に消灯します。

【モデリングランプ】
「無線/SETボタン(7)」と「-ボタン(12)」を同時に押すと、LEDモデリングランプを2種類の点灯方式でオンオフ出来ます。60秒で自動消灯する省エネモードと、起動中常時点灯モードの2種類がありますが、「TRS　無線送信機」では常時点灯モードか消灯のみを制御することが出来ます。
モデリングランプはストロボチャージ中は消灯し、チャージ完了後に点灯します。この機能は変更できません。

【スリープとシャットダウン】
任意の操作をすることなく5分間経過すると、液晶画面に「SL-EP」と表示され自動的にスリープモードに切り替わります。任意のボタンか、TRSからの発光信号で復帰します。
スリープモードのまま、電源を落とすことはできません。
何も操作せずに1時間が経過すると、システムは自動的にシャットダウンします。

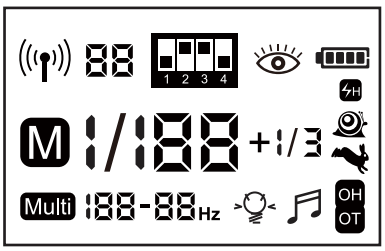
【システム保護回路】
過度な連続発光や環境によってシステムがオーバーヒートすると液晶パネルに「OH」と表示され、過熱保護モードに変わります　オーバーヒートが発生した場合、システムは通常の温度まで冷却されないとチャージ・発光をしません。
何らかの理由でチャージが40秒以内に完了しないとき、シ液晶パネルに「OT」と表示され、タイムアウトモードに切り替わります。この場合、システムが自動的に回復することはできません。システムを再起動させてください。

ご利用上の注意

◆無償保証期間は1年間です◆製品の分解・改造は危険ですので絶対におやめください◆分解・改造などの跡がある個体はいかなる理由でも保障の対象外となります◆排熱口をふさがないでください◆雲台のネジは締めすぎないようにご注意ください。ネジが破損する場合があります◆小さいお子様の手の届かない環境で運用してください◆必ず専用の充電器をご利用ください◆充電が完了したら速やかに充電器を外してください◆バッテリーは消耗品です。定期的な交換をおすすめします◆ご使用方法や環境次第ではスペック通りの性能が引き出せない場合がございます◆無償保証期間は当製品の耐久性を保証するものではありませんのでご了承ください。

2015/06/24

液晶表示



- 88 無線チャンネル・モード
- 1 2 3 4 無線チャンネル (DIPスイッチ対応図)
- スレーブ/プリ・遅延発光
- M マニュアル発光モード
- 1/188 +1/3 出力表示（1/3ステップ毎）
- Multi 188-88Hz マルチ発光設定値
- モデリングランプ
- チャージ完了音
- OH オーバーヒート警告
- OT タイムアウトアラーム
- 電池残量
- FP発光
- 通常充電
- 高速充電

機能設定（ボタン操作）

❾ 電源ボタン

機能	設定内容・方法	操作ボタン	表示
電源	1. オン / オフ（長押し）	❾	
充電モード切替	2. 通常チャージモード		
	3. 高速チャージモード		

❼ 無線/SETボタン

機能	設定内容・方法	操作ボタン	表示
無線機能	有効/無効	❼+⓫	88（点灯）
モデリング	1. 点灯(60秒消灯)	❼+⓬	
	2. 常時点灯		
チャンネル設定	+/-ボタンで0～15チャンネル設定。(送信機のDipスイッチと合わせる)	❼	88（点滅）

⚠ ストロボスリープ(約五分後)にはモデリングランプは自動消灯します。

❽ スレーブ/発光モード選択ボタン

機能	設定内容・方法	操作ボタン	表示
発光モード	1. マニュアル発光（有線/無線）	❽	M
	2. マルチ発光		Multi 188-88Hz
	3. スレーブ		
	4. プリ発光・遅延発光		
液晶バックライト	オン / オフ	❽+⓫	
チャージ完了音	オン / オフ	❽+⓬	

⚠ プリ発光、マルチ発光の設定値変更は7番「セットボタン」で行えます。

マルチ発光設定表		
出力	発光周波数 (Hz)	発光回数 (回)
1/1~1/4	発光不可	
1/4	1	2
1/4 -1/3	2	4
1/8 +1/3	2	6
1/8	3	8
1/8 -1/3	3	10
1/16 +1/3	4	10
1/16	4	12
1/16 -1/3	5	15
1/32 +1/3	6	15
1/32	7	16
1/32 -1/3	8	16
1/64 +1/3	10	17
1/64	12	18
1/64 -1/3	12	20
1/128 +1/3	15	25
1/128	15	30

- マルチ発光モードでのストロボの発光周波数と発光回数は出力に応じ自動調整されます。各値を設定後に出力を変更すると、各値が出力に応じた値に変更され、出力を元に戻しても値は変わりません。
- 無線機能をONにして無線で発光させる場合、1度のレリーズで設定した値で発光します。発光が終了するまで発光をキャンセルできません。

Multi 188-88Hz

左項＝発光回数、右項＝フラッシュ周波数

❼+⓫ ❼+⓬

光を拡散しない環境で、一度の露光で分解写真を撮ることが出来ます。発光回数とフラッシュ周波数（Hz単位・秒あたりの発光回数）を設定するには【無線/ SET】ボタンを押し、【-】または【+】ボタンで設定します。マルチ発光中は、シャッターを開いたままにする必要があります。必要なシャッタースピードは次式から求めます。

発光回数/フラッシュ周波数=シャッタースピード

【例】：発光回数が10回、発光周波数が5Hzの場合、シャッタースピードは2秒必要。

スレーブON：
他ストロボの1度目の発光に同調

プリ発光、遅延発光：
他ストロボの任意の発光タイミングで同調。SETボタンと【-】または【+】ボタンで2～10度目までの発光タイミングを設定。

ハイスピードシンクロ

❼+❽ 同時押し

社外のハイスピードシンクロ対応無線機※1をシンクロケーブルで接続すると、1/16以上の出力で最高1/8000秒のシャッタースピードでの利用が可能。※無線機の使用に関するサポートは提供しておりません

※1：YONGNUO社製YN-622シリーズ等

2015/06/24

HD-600-V JINBEI HD-600-V バッテリーモノストロボ　取扱説明書

バッテリーの脱着方法

バッテリーのロックを外し、ハンドルをもってまっすぐ引き抜きます。
※ハンドルはストロボを持つ為の物ではありません！　バッテリーの持ち運び専用です。

バッテリーのハンドルと持ち、まっすぐストロボに差し込みます。
最後まで押し込み、「カチッ」とロック音を確認してください。

バッテリーの充電

過放電にならないよう、バッテリーの残量メモリが1つになったら充電してください。
必ずバッテリーをストロボから外した状態で行ってください。

①バッテリーをストロボから外します。
②充電器は最初にコンセントにつないで、充電器のLEDが緑になります。
③充電コネクタをバッテリーに接続します。充電器のLEDが赤になります。
④充電完了時は充電器のLEDが赤から緑になります。

※バッテリーの健康状態や残量にもよりますが、通常2時間強で満充電になります。

電池のケアとメンテナンス

本製品の電池は、ご購入後2、3回の完全な充放電サイクル後に最適なパフォーマンスを発揮します。400回程度の充放電が可能ですが、経年劣化で電池容量が減少します。電池の持ちが悪くなったら新しい電池に交換してください。

過度に高温や過冷却の場所にでは、電池容量は減少し、耐用年数が短くなります。適切な環境温度は約15℃～25℃です。 過熱・過冷却時は、電池が頻繁にシャットダウンします。環境温度が0℃よりも低い場合、電池が満充電でも機能しません。

過放電は最悪の場合電池を破壊します。HD-600-Vには、電池容量表示機能があります。電池容量が少ないまま使用を続けると電池が破損しますので、早めに充電を行ってください。

電池を保護するために、使用した後は10分ほど冷却して下さい。
電池の脱着はHD-600-Vの電源を切ってから行ってください。

電池に関する注意

▽電池を分解・改造することは禁止です。
▽電池の接点を短絡させることは禁止です。
▽水や火の中に電池を廃棄することは禁止です。
▽車内等60℃以上の高温にさらさないでください。
▽電池に過度の衝撃や振動を与えないでください。
▽他の目的のために電池は使用できません。
▽充電は乾燥した場所で行ってください。
▽専用充電器以外の充電器は使用禁止です。
▽充電器をコンセントにつないだ後に電池にコネクタを接続します。
▽電池を使用しない場合は涼しく乾燥した場所に保存してください 。
▽3ヶ月に1回は満充電してください。
▽子供の手の届かないところに保管してください。

TRS-V　無線送受信機

各部名称

交換用電池：ボタン型電池（CR2032）
対応機器：HD-600-V
[2015年3月現在]

チャンネル設定方法

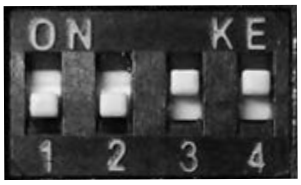
DIPスイッチ対応表

Channel	1	2	3	4
0	0	0	0	0
1	1	0	0	0
2	0	1	0	0
3	1	1	0	0
4	0	0	1	0
5	1	0	1	0
6	0	1	1	0
7	1	1	1	0
8	0	0	0	1
9	1	0	0	1
10	0	1	0	1
11	1	1	0	1
12	0	0	1	1
13	1	0	1	1
14	0	1	1	1
15	1	1	1	1

チャンネル設定方法

1)対応表の0はスイッチを上(「ON KE」と書いている側)に
2)対応表の1はスイッチを下(数字が書いている側)に
3)15チャンネルは全チャンネルで同調

3チャンネルに設定した例



0側
1側

1	1	0	0

1・2番スイッチを1側に、3・4番スイッチを0側に設定

操作方法

①**電源**：電源ボタン長押し（3秒以上）でオンオフが可能です。その際、LED電源ランプが1度だけ発光します。
※X接点とシュー土台部分を短絡（ショート）させると自動的に電源が入ります。カメラへの取付時にもホットシューとの短絡で電源が入る場合があります。
※カメラのホットシューに接続した状態でシャッターを切ると、電源が入ります。

②**チャンネル設定**：別表、または発光部のLCD画面参考に、本体側とリモコンのDIPスイッチを同一に設定してください。

③**カメラとの接続**：カメラのホットシューに接続後、リモコン側の固定ネジを軽く締めてください。取り外す場合は必ずネジを完全に緩めてから外してください。

電源オン時、1分間無操作・無信号の状態が続くと自動的に電源がオフになります。その際は、再度電源を入れるか、シャッターを切ってください。

※電池の入っていない無電源の状況が長く続く等した場合、チャンネルのリセットをする必要があります。
利用するチャンネル以外にDIPスイッチをセットし、リモコンを再起動した後に、利用するチャンネルにDIPスイッチを設定してください。改善しない場合は再起動前に電池の入れ直しを行ってください。

ご利用上の注意

◆本品では光源本体の電源を入切することは出来ません◆お届け時同封の電池はテスト用です。実稼働前に必ず新しい電池への交換を行ってください◆電池は消耗品です◆製品の分解・改造は危険ですので絶対におやめください◆ホットシュー側のネジは締めすぎないようにご注意ください。ネジが破損する場合があります◆小さいお子様の手の届かない環境で運用してください◆ご使用方法や環境次第ではスペック通りの性能が引き出せない場合がございます◆長期間使用しない場合は電池を抜いてください

2015/05/24